

全29項目中26項目で、A（あてはまる）とB（だいたいあてはまる）を合わせた割合が80%を超えておりました。（13項目が90%を超えていました。）

また、C（あまりあてはまらない）とD（あてはまらない）を合わせた割合は、令和元年度においては5項目において10%以上ありましたが、今年度はすべてにおいて10%を下回って減りました。その中でも特に割合が多かったのが、生活指導の「14 本校の子供は、気持ちのよい挨拶ができ、身だしなみも整っている。」の項目で、7.6%でした。昨年度は10.8%でしたので、割合が減ってきています。引き続き、代表委員会による朝の挨拶運動（PTAの校外部の方々にもご協力いただいております。）や生活指導による学級指導等により粘り強く取り組み、気持ちのよい挨拶ができる児童の育成を進めていきます。

E（わからない）の割合においては、10%を超える項目は昨年度は6項目でしたが、今年度は13項目に増えました。今年度は、5月からの分散登校から始まり6月からやっと全員登校できたコロナ禍の状況でした。行事の中止も余儀なくされ学校公開や保護者会も分散していただき限定的な公開となりました。この場をかりて、保護者の皆様や地域の方々にご理解とご協力いただいたことに感謝いたします。来年度は、コロナ禍であっても、教育活動をさらに工夫して実施し、保護者の皆様や地域の皆様にその活動の様子を通信やホームページ・ツイッター等でお伝えできるように努めていきます。

一方、自由意見欄にも、保護者の方々から、本校に対する肯定的な評価や励まし、改善点やご意見をいただきました。複数の方々からの特定の内容についてご指摘をいただいた点は特にございませんでしたが、ご指摘いただいた点については、貴重なご意見として保護者会の折に触れたり、個々に電話で対応させていただいたりしていきます。